

# 薩摩川内

広報

さつませんだい

8

August.2023  
vol.452

一日千秋の思いで  
熟成を待つ



友だち  
募集中



自治体広報紙配信  
アプリ「マチイロ」  
ダウンロード  
はこちら





鹿兒島でお酒といえば焼酎のイメージが強いかもしれませんが、実は本市にワイナリーがあるのをご存じですか。

今回は本市産にこだわってワイン作りを行っている朝陽ワイナリーに潜入しました。製造者の思いやこだわり、ワインの魅力をたっぷりご紹介いたします。

いざいざ！  
キジカケル！！



朝陽ワイナリーで、ワインの製造に携わる今村勝彦さんと、椎木稔幸さんにお話を聞くことができました。

**本市でワイナリーを始めようと思ったきっかけは？**

「かねてより、障がい者が活躍できる場を考えており、調べてみると『ワイナリーの農福連携（農業と福祉の連携）』に取り組んでいるところがあると知りました。

その取り組みに共感し、県内でもそのような場所を探してみたいところ、本市で『閉校跡地活用制度』を実施しており、県内でも有数のブドウの産地であることを知りました。

そこで、朝陽小学校跡地を活用したワイナリーを作ることになりました。障がい者の就労継続支援を行う事業所に委託し、障がい者が活躍できるワイナリーとして、『朝陽ワイナリー』を創設したそうです。

**本市初のワイナリー**

朝陽ワイナリーは令和5年6月に旧朝陽小学校（入来町浦之名）にオープンした本市初のワイナリー。

正面玄関を入ると、靴箱や黒板など小学校の名残を感じることが出来ます。



**朝陽ワイナリーの特徴**

「朝陽ワイナリーでは、ブドウの生産からワインの製造まで一貫して行っています。他のワイナリーは、栽培で使用するブドウは外国産（特にフランス）の品種を使用することが多いのですが、朝陽ワイナリーでは地元で栽培したブドウを使ったワインの製造に取り組んでいます。」



▲就労継続支援A型事業所を利用する方々で制作した黒板アート

※就労継続支援A型事業所とは、一般企業に雇用されることが困難であった、雇用契約に基づく就労が可能である者に対して、雇用契約の締結などによる就労の機会の提供および生産活動の機会の提供を行う事業所のことです。

**本市産のブドウ**

朝陽ワイナリーでは樋脇地域と祁答院地域の2カ所でブドウを栽培しています。それぞれの場所にて安定して栽培・収穫ができるように、試行錯誤をしながら作っています。

**樋脇地域**

すでにたくさんさんのブドウが実を付けていて、これから紫色に色づくそうです。また収穫に向けて、全てのブドウに害虫防止の袋をかぶせていました。



▲実を付けた収穫間近のブドウがたくさん

**祁答院地域**

以前、ブドウが作られていた休耕地を借りて、再びブドウ園として活用しています。しばらく時間より整備を進めていますが、農福連携にだ30センチ程度ですが、2、3年後には収穫できる大きさまで成長するそうです。



▲成長途中のブドウに支柱を立てていました

**1本のワインを製造するのにどれくらいの時間が掛かる？**

「最短で2カ月で作ることが出来ますが、さらにオーク樽で1年、2年と熟成させることで、オークの香りが付き、より熟成した味わいになります。」

※オーク樽とは、ワインを熟成させるために入れておくオーク材製の樽のことです。

**ワイン作りで大変なことは？**

「生食用のブドウは完熟する前に収穫することが多いですが、ワインには完熟したブドウを収穫したその日のうちに処理する必要があります。その日の収穫量とワイナリーで作れる量のバランスを取らないといけません。収穫したブドウが傷まないように、工場でバランスを取ることが難しいです。」

**やりがいは？**

ワインは製造過程がシンプルだからこそ、ブドウの味がワインの味に直結し、奥が深く、どれくらい熟成させるかで、味も変化していきます。製造過程で試行錯誤を繰り返して、成功や失敗を経験する中で自分が思い描いている味になったときやりがいを感じます。また、失敗した時でも、次の策を考え、それが成功すると達成感を感じます。」

**どんな人に、どんな時に飲んでほしい？**

「みんながワインを飲みたいと思った時に飲むのが一番だと思います。地元を離れた人にも、このワイ

ンを手にとって、地元を感じてもらいたい。そこからまた本市の魅力を発信してほしいです。」

**地域の方への思い**

「地域には朝陽小学校の卒業生もいらっしやいます。朝陽ワイナリーとして、新たに生まれ変わった母校で生まれた味を、ぜひ卒業生に飲んでほしい。また、本市のフルーツ生産者がお酒を作りたいときに相談できる『駆け込み寺』のような存在になりたい」と話してくれました。

**地元産ワインを楽しむに**

今回の取材で、本市産のブドウを使うことで、「ここ」でしかできないワインを作りたいと試行錯誤していることを知りました。

また、入来地域を拠点に本市を盛り上げ、知名度を上げていきたいという思いも知ることができました。本市産のブドウを使用したワインが完成するのは、早くも今年の年末ごろを予定しているとのこと。このワインが完成したら、市内での販売を考えているそうです。

地域から作られ、地域の方々のお楽しみに寄り添ったワインを飲めるのを楽しみに待ちたいですね。



▲Instagram

皆さんが知りたいことや紹介したいことなどがありましたら、情報をお寄せください。

問合せ／本庁秘書広報課  
企画総務・広聴広報G内線4122

**ワインの製造過程をご紹介します（赤ワインの場合）**



ブドウを収穫。



収穫したブドウを房と軸に分ける。



ブドウの房だけを入れて、最初の発酵をさせます。



発酵後、房に含まれるアルコールを含む果汁を搾る。



果実と皮・種の果汁に酵母を入れる。



タンクで発酵・熟成させる。

「人のとなりに」とは…

文字通り、その人の隣にいて、思いに寄り添うことや人柄を表す言葉「人のとなりに」をイメージしたコーナーで、人物や活動の紹介だけでなく、その人の思いにスポットを当ててを目的としています。



▲健康体操教室の様子（入来会館）



人のとなりに

桑原 由美さん（60歳）

スポーツを通して市民の健康を支え、楽しみを届ける特定非営利活動法人川内スポーツクラブ01。今回は、立ち上げから関わる桑原さんのスポーツを通じた健康維持や地域への思いに寄り添います。



野菜たっぷり オムキャベツ

私の Food記 薩摩川内風土記



▲皆吉縁さん（左から3番目）とスタッフの皆さん

巡り合えて良かった

今回は、家庭で簡単に作れる「オムキャベツ」を紹介します。

紹介していただいたのは、「こども食堂おばちゃんち」運営委員会会長の皆吉縁さん。こども食堂では、幼児から高校生まで週2日でお弁当を無料で提供（要予約）しています。オムキャベツは、こども食堂をスタートして初めて作った料理だそうです。今でもたくさんのお子たちに愛されている、思い出深い料理の一つです。

皆吉さんがこども食堂を始めたきっかけは、共働き家庭や核家族化が増えている中で、子どもたちの長期休暇中における昼食の孤食問題などに気付いたこと。そこで、子どもたちの居場所を作ろうと、公民館に集め、一緒にご飯を食べるようになったのが最初です。平成28年から本格的に「こども食堂おばちゃんち」をスタート。皆吉さんは、もともと「食」に興味はなかったそうですが、昔から料理をする機会が多く、「おいしい」と言ってもらえて、好きになっていったそうです。

野菜は農家の方などが無償で提供してくれることもあるそうです。「食材をいただいた後

に、子どもたちの健康面や彩りを考え、献立を作っている」と言います。このオムキャベツのように、野菜をたくさん使っているのが、ビタミンやたんぱく質などの栄養たっぷりなお弁当を提供しています。

「特に、頂いた食材は余すことなく使うことにこだわっていて、野菜の皮や芯もみそ汁などに入れるようにしています。このみそ汁が子どもたちに人気で、お菓子より先に食べる子もいるぐらい」と教えてくれました。

この活動を続けることができるのも、食材の提供や調理してくれる地域の皆さんの協力があってこそ。スタッフも週2日を楽しみに活動されているそうです。「これからも無理なく、週2回の活動から回数を増やしつつ、子どもたちが誰でも気軽に来ることができる『居場所』作りを継続していきたい」と言います。また、「これからもお腹いっぱいになって、『おいしい』と言ってくれる子どもたちの笑顔を見ることができるよう頑張りたい」と話してくれました。

レシピ

【材料】（4人分）  
●卵：3個 ●キャベツ：1/2玉 ●モヤシ：1袋 ●豚細切れ肉：150g ●塩コショウ：少々 ●マヨネーズ：お好みで ●ソース：お好みで

- 【作り方】
- 1 キャベツを千切りにし、モヤシ、豚細切れ肉を炒め、別のボウルに移す。
  - 2 卵を溶き、フライパンに薄く広げ、卵が半熟な状態で、①で炒めた材料を乗せる。
  - 3 半分に折りたたみ、4等分にカットして完成。



こども食堂 おばちゃんち Instagram

～ワンポイント～

- キャベツは千切りより太く切ってもおいしい！ ●冷蔵庫に残っている野菜は、何でも使えます。
- 豚細切れ肉がないときは、ちくわも代用できます。
- 炒めるときにゴマ油を使うと、おいしさアップ！



皆さんの思い出の料理を大募集

皆さんの思い出の料理とそれにまつわるエピソードなどがありましたら、どしどし情報をお寄せください。取材に伺います。問合先／秘書広報課企画総務・広聴広報G（内線4122）

利用者へ寄り添う

川内スポーツクラブ01が市

運動を通じた健康維持

桑原さんは指導する中で、年代によって運動や健康に対する意識がさまざまであると感じるそうです。「例えば、子育てや仕事に追われ、自分の時間が限られている方は、時間があると、体を休めようという意識が薄れていく傾向があります。でも、疲れを感じるときこそ軽く体を動かすと、老廃物が除かれ、体の回復

これからも「楽しく・明るく」

「老若男女問わず誰もが自分の健康を意識し、適度な運動をしてほしい。そのために、クラブのポスター掲示を市内のお店などをお願いしたり、新しい種目を増やして受け皿を増やしたりなど、少しでも興味を持ってもらえるようにしています。体は使わないと衰え、使いすぎると壊れます。自分のためだけにじゃなく、家族や友人、社会のためにも一度健康について考えてみませんか？」と話す桑原さんは、これからも市民の健康維持のために「楽しく・明るく」指導に励みます。

川内スポーツクラブ01の由来  
2001年発足であることと、「1」を「01」より前に出すことで、一歩前に進み出そうという意味が込められているそうです。\*「01」は足が表現されています。

# 「創業の夢」叶えてみませんか？

※創業とは、新しく事業を開始することです。

本市では、商工団体や金融機関などと連携し、創業を希望する方や予定の方に対し、相談から実際に創業を実現するまでの必要なサポートをワンストップで対応する体制(創業支援ネットワーク)を整えています。

今回は、本市で令和5年1月にオートサービスブライートを創業された森公太郎さんと令和4年11月にCHEERFUL DELICAを創業された清山久美さんにお話を伺いました。

## オートサービス ブライート

森 公太郎さん



ディーラーで16年勤めた経験を生かし、令和5年1月にオートサービスブライートを創業。1台1台丁寧に作業する整備工場を運営しています。

「オートサービスブライートの特徴を教えてください。」

自動車の整備を主に、車検、点検、故障車の修理、メンテナンスなどを行っています。



▲車両の整備作業(タイヤ交換)のため、車両を持ち上げる装置

「創業のきっかけは何ですか。」

以前から、整備工場を開業したいという思いがありました。整備士としての長年の経験を生かし、直接お客さんと話すことで、車に関する悩み事を解決して、長く快適にマイカーに乗ってもらいたいと思い、創業しようと思いました。

「創業しようと思っても、何から始めていいかわからないことが多いと思いますが、まず何から取り組まれましたか。」

## CHEERFUL DELICA

清山 久美さん



▲清山さん(写真1番左)とスタッフの皆さん

食に携わる仕事が好きで、令和4年11月にCHEERFUL DELICAを開業。味はもちろん、見た目もおしゃれで映えるお惣菜を販売しています。

「CHEERFUL DELICAの特徴を教えてください。」

お惣菜を選んで楽しめるところですかね。「CHEERFUL」は明るい・陽気な・楽しいという意味があるので、お惣菜で食卓を楽しく元気にできればいいなという思いを込めて店名を考えました。



「創業しようと思ったきっかけは何ですか。」

以前から自分が作った料理を食べてもらいたいのが好きだったので、創業しようと思いました。そこで、まだふわっとした計画しかなかったのですが、インターネットで調べたところ、川内商工会議所で相談できると知り、早速行ってみたくです。そのような状態でも手厚く支援していただき、創業に向けての見通しを立てることができたので、創業しようと思いました。

「手厚く支援いただいたのですが、具体的に教えてください。」

事業計画書の作り方を丁寧に教えていただきました。その中で、「自分のやりたいこと」「しなくてはいけないこと」を明確にすることが大切だと教わり、それを意識しながら計画書を作成しました。すると、創業までの段階的な目標が見えてきて、心構えもでき、モチベーションを高めることができました。

「創業して良かったと感じることはありますか。」

お客さんが喜んでくれる姿を見たり、「おいしかったよ」という声を聞いたりとすると、やっぱり創業して良かったと思います。

「創業にあたり、大変だったことはありますか。」

最初は何も分からない状態だったので、まずはインターネットで調べることから始めました。また、個人事業開業に関する本を読んだところ、県の事業継承・引継ぎ支援センターの情報を知り、早速電話をして面談の予約をしたり、紹介など無いまま川内商工会議所に電話して面談・相談をさせていただいたりなど、とにかく分からない状態なりにできることはしました。

「創業して良かったと感じることはありますか。」

創業したことで、時間の使い方を自分で調整できるようになり、趣味を楽しむ時間ができました。前職の時は工場にいる時間が長かったので、会社の人としか話す機会がなかったのですが、さまざまな人と話すようになり、地域を身近に感じることができるようになりました。

「創業にあたり、苦労したことはありますか。」

整備事業は初期投資がかかるため、調達が難しかったことと、物件がなかなか見つからず、大変でした。そこで、川内商工会議所の創業スクールに参加し、融資のことや補助金について勉強しました。特に、創業資金調達の仕

まず何から始めたらいいかわからなかったのが、創業すると決心してからの段取りは大変でした。しかし、事業計画書の作り方を教えていただけだったので、今後の見通しを立てることができ、順調に準備を進めることができました。

「最後に創業を目指す方にメッセージをお願いします。」

夢を形にしたいという気持ちはみんな一緒だと思うので、その気持ちを大切に、頑張ってほしいと思います。

方や個人事業の運営の仕方が参考になり、市の創業支援制度も知ることができました。その結果、市の創業支援事業補助金などを受け、創業資金を準備することができました。

「最後に創業を目指す方にメッセージをお願いします。」

考えることは誰でもできますが、行動に移すのは難しいことだと思います。失敗を恐れず、行動に移すことで、自分のしたいこと、進みたいことができるのではないかと思います。頑張ってください。

**オートサービス ブライート**

- 所在地/五代町 1487-5
- 定休日/不定休
- ☎080(5205)4740




Instagram

**CHEERFUL DELICA**

- 所在地/宮内町 2938-3
- 定休日/水・土・日曜日、祝日
- 営業時間/
- 【お昼】11時30分～13時30分
- 【夕方】16時30分～18時30分




Instagram

### 気軽に相談ください

創業したいという気持ちはあっても、具体的に何から始めたらいいのかわからない方、お店の場所や資金の確保など、自分にできるか不安な方も多いのではないのでしょうか。何か新しいことを始めるときは不安がありますが、一人で抱え込まず、誰かに相談してみることも大切です。

今回インタビューした森さんや清山さんのように、まずは、自分から行動してみること、創業に向けた一歩を踏み出してみませんか。

本市では、商工団体や金融機関などと連携し、皆さんの創業をサポートする体制を整えています。お気軽にご相談ください。

広報薩摩川内 4月通常版では、どのような支援を受けることができるのか、補助金についてなど、創業を希望する方や予定の方へ向けた支援体制についてご紹介しています。詳しくは、左記の二次元コードからご確認ください。



▲広報薩摩川内 4月通常版

問合先/本庁産業戦略課産業G(内線5763)、川内商工会議所 ☎(02)22267

# 自分らしく生きられる社会を目指して

## ジェンダー平等推進

### ジェンダー平等って？

毎日の生活の中で、男性の役割、女性の役割が決められていて、窮屈に感じたり、どうしてだろうと思ったりすることはありますか。

性別で判断されてしまうことで、一人一人が持っている能力を發揮できなかったり、可能性が狭められたりなど、人権が尊重されないようなことが起こることがあります。

一人一人の経済的な自立と幸せの追求、そして、持続可能な誰一人取り残さない社会づくりのために、ジェンダーに基づく無意識の偏見や、固定的な性別役割分担意識を解消し、ジェンダー平等を推進することは、とても大切なことです。

### 意識は変わってきているけれど…

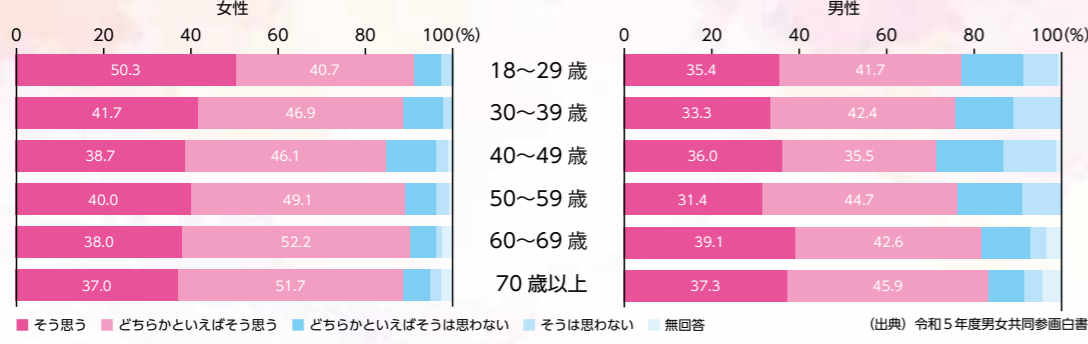
鹿児島県が実施した最新の県民意識調査では、男女共に固定的な性別役割分担に対する意識の変化が見られます。しかし、家庭における実際の役割分担については、家事・育児・看護・介護などのケア役割は、依然として妻に偏っている現状があり、「意識」と「現状」に差があります。

### 多様な人材が働きやすい職場？

国の調査結果から、男女共に、女性に家事・育児などが集中していることが、職業生活において女性の活躍が進まない理由と考えているようです。

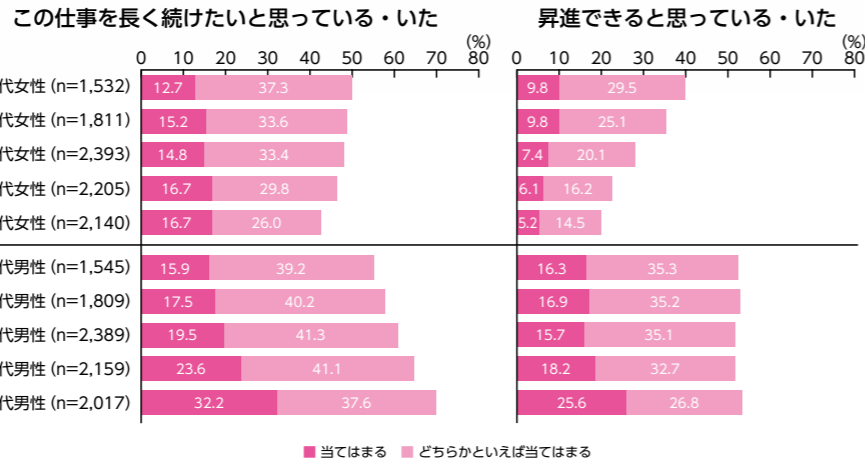
### 職業生活において女性の活躍が進まない要因

＜育児や介護、家事などに女性の方がより多くの時間を費やしていること＞



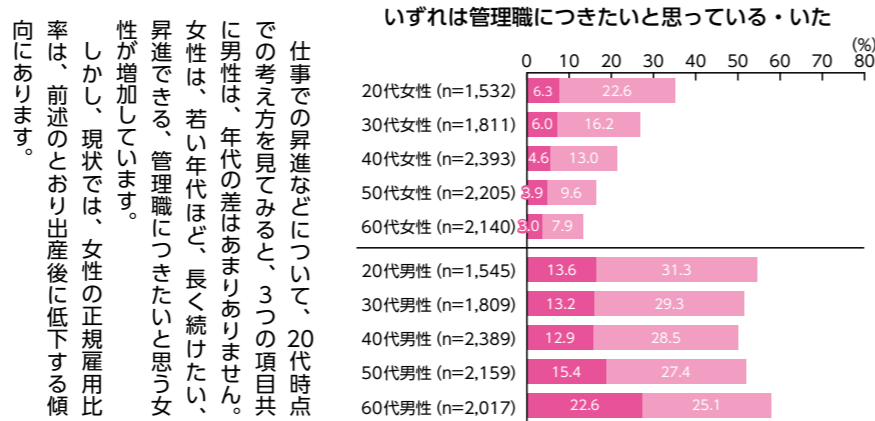
女性の8割以上、男性の7～8割が、女性に家事・育児などが集中していることが、職業生活において女性の活躍が進まない理由として考えています。

近年「ワークライフバランスを実現できるか」などの働き方は、若い世代が企業を選択する際の重要なポイントの一つとなっています。性別だけでなく、時間や健康面に制約がある人などさまざまな両立が可能になると、企業にとっても多様な人材を確保でき、その多様な能力を最大限に發揮できることで、個人の幸せと



### 仕事の継続希望、昇進希望(20代時点での考え方)

企業成長を共に実現していく原動力となります。家庭でも仕事でも、結婚していてもしてなくても、子どものいる人もいない人も、性別にかかわらず誰でも、自分が望む生き方ができる社会の実現のために、女性活躍推進を女性だけの問題とするのではなく、みんなで取り組みましょう。



SSプラザさんだ(平佐一丁目)1階にある男女共同参画センターでは、女性相談窓口や、男女共同参画に関する情報提供、セミナーなどのイベントを実施しています。また、生理用品の無償提供をし、一人で悩み、相談できないと思われていることなどのご相談も受け付けています。

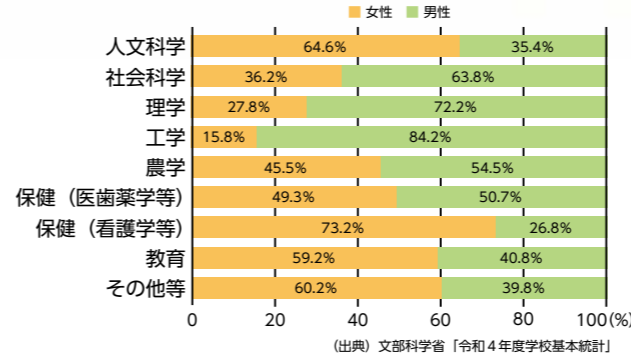
### 男女共同参画センター

女性活躍推進って「何から始めたらいいのだろう」「取り組みたいけど現状では難しい…」と考えている企業などの皆さん、一度、現状をお伺いする専門家のヒアリングから始めてみませんか。市ではジェンダー平等推進アドバイザーを派遣しています。アドバイザーによる助言や研修により、多様な働き方を可能とし、働きがいから業務効率化を図れる職場づくりの第一歩としてご利用ください。



▲アドバイザー派遣事業市ホームページ

### 大学(学部)の学生に占める女性の割合



大学(学部)専攻の男女比では、理学や工学の分野で女性の比率が少なく保健の分野で多いなど、男女の偏りが見られます。

また、国の調査から教育の分野でのデータでは、女性の大学や大学院への進学率は上昇していますが、男性の進学率と比べると依然として低い状況にあります。例えば、「理系の分野は男性に向いている」「女性だから学歴は必要ない」などのジェンダーによる思い込みから、平等な学習機会を妨げていることがあるかもしれません。「その子らしさ」を基準にすることで、多様な選択ができる。将来の可能性を広げることにつながります。

### 女性活躍推進は

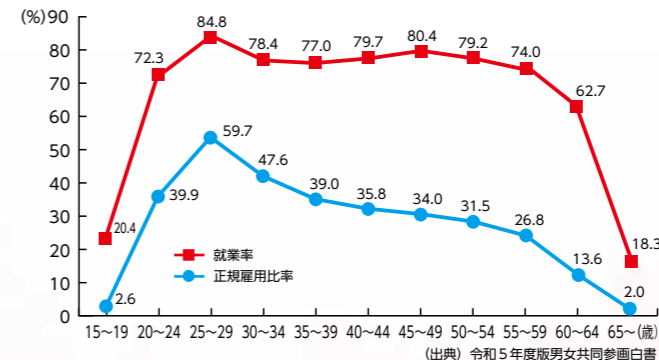
### 働く場でのジェンダー平等推進

単独世帯とひとり親世帯が全体の世帯数の約半数を占め、共働き世帯が専業主婦世帯の3倍近くとなっています。家族の形や、価値観も多様化し、人口減少が加速化している社会の中で、女性活躍推進は、単に女性管理職を増やせばいいというだけの話ではありません。働きたいと希望する人が性別を問わず誰でも働ける社会を目指すものです。

これまでの「男性は仕事、女性は家庭」という固定的な性別役割分担による男性中心を前提とした労働慣行では、女性ももっと活躍したいと望んでも、家事や育児の負担が女性に偏り、能力を生かせません。また、上司の無意識

の思い込みにより、子育て中の女性への配慮が、本人の意に反して、意欲・能力を生かすことができないなど、企業にとって大きなマイナスとなるようなケースもあります。

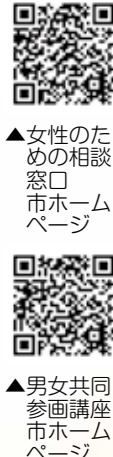
### 女性の年齢階級別正規雇用比率(令和4(2022)年)



女性の正規雇用比率は、25～29歳の約60%をピークに年齢とともに下がる「L字カーブ」を描いています。

また、出産をきっかけに女性が働き方を変える、もしくは、一度退職し、子どもが大きくなったなら非正規雇用労働者として、再就職するケースが多い現状もあります。

問合せ/コミュニケーション課  
生涯学習・ひとみらい政策G  
(内線4741)



▲女性のたのしみ市ホームページ

▲男女共同参画講座市ホームページ

# 自治会に加入して、 コミュニティ活動に参加しよう

問合せ／コミュニティ課  
コミュニティG(内線4613)

## 自治会とは

自治会は、一定の区域に住む人々が和気あいあいと住みやすいまちを目指し、地域のみんなで運営する集まりです。普段の暮らしにおける困り事など一人では解決できないことも、地域の問題として捉え、みんなで考え、支え合うことを目的とした住民自治組織です。

また、本市ではその自治会に加え、スポーツ協会や子ども会などの団体の運営体制や、事務局体制の強化を図りながら、より充実した横断的な取り組みを展開する地区コミュニティ協議会を組織しています。

自治会と地区コミュニティ協議会は、密接に関わりながら、地域の活性化に取り組んでいます。

自治会や地区コミュニティ協議会ではこんなことをやっています  
～自治会や地区コミュニティ協議会は、会員の皆さまの会費で運営されています～

### きれいなまち

ごみステーションなどの清掃や管理、資源回収、リサイクル活動の他、道路のごみ拾いや草刈りなどの環境美化などにも取り組んでいます。



### 触れ合えるまち

お祭りやイベントなど、地域の交流事業や子ども会や老人会などへの支援も行っています。

また、市広報紙の配布や各種情報の提供を行っています。



### 安全・安心なまち

防犯灯の設置や維持管理などの防犯の取り組み、自主防災組織をはじめとした防災活動や交通安全の活動などを通して、安全・安心な地域づくりを行っています。

また、地域の困り事や悩みを共有し、みんなで考えたり、自分たちでできることを取組んだりすることで、解決できることもあります。



### 住みやすいまちづくりのために

自治会加入の申し込みは、お住まいの地域の自治会長に自治会加入申込書を持ってお申し出ください。

自治会加入申込書は、市のホームページからもダウンロードできます。自治会長が分からない方は、コミュニティ課までお問合せください。



▲市ホームページ

### 地域の人たちと支え合う

コミュニティとは、いま暮らししている地域をより良くしようという人々の活動によって生み出される生活の場のことです。そのコミュニティをより良くするために、本市では自治会や地区コミュニティ協議会における交流や環境美化、福祉などの活動を行っています。

また、平成7年に発生した「阪神・淡路大震災」では、救助された人々のうち、80%以上が、自力または家族・近隣住民の救助活動によるものだったといわれています。

これを教訓として、各地で自主防災組織が強化され、平成28年に発生した熊本地震においても、自治会組織などを中心とした自主防災組織が、消防団と連携した救出作業や安否確認、炊き出しをはじめとした自主避難所の運営などを積極的に展開しました。

今後、いつか起こりうる大規模災害においても同様に、「日頃からの近所付き合い」がとても大切です。

地域の人たちと触れ合い、交流を深めながら、つながりを通じて助け合い、支え合うまちにしていきたいです。

# 深ボリ! 企業のチカラ

第56回 株式会社

バイテックファーム薩摩川内

今回は、株式会社バイテックファーム薩摩川内を「深ボリ!」取締役工場長清水弘之さんにお話を伺いました。

事業の概要

当社は、完全閉鎖型植物工場です。場では、天候に左右されず毎日安定してレタスを栽培し、出荷する工場として平成29年11月に開業しました。衛生的な工場です。種まきから収穫、パック詰めまで一貫生産した、完全無農薬で安全安心なレタス



▲本場で栽培・出荷しているレタス

です。薩摩川内市の他、秋田県、石川県を含めた4工場で事業を展開しています。

### 安定的な供給と品質管理

栽培環境が最適に保たれており、衛生管理の行き届いた工場内では、農薬も一切使用しないため、細菌数も少なく、安全安心、栄養たっぷり、高品質なレタスを1年を通して安定的に供給することが可能です。また、厳しい品質基準をクリアしたレタスなので、消費期限も長く設定することができます。

このような品質を保つために、社員が入退社時にエアシャワールームを通って、異物混入や病虫害被害からのリスクを抑えたり、レタスの種類に合わせて最適な温度、水光を与えたりするなど、工夫しています。

### 今後の抱負

今年の3月に薩摩川内市合同企業説明会に参加しました。今後そのようなイベントなどに参加し、地元の雇用促進に貢献したいと考えています。また、これからは高品質のレタスを生産し、本市をはじめ、鹿児島県、九州全体へ出荷先をさらに広げていきたいと考えています。



▲社員の皆さん (完全閉鎖型植物工場内)

### 工場ライン～種まきから出荷まで～



**株式会社**  
**バイテックファーム**  
**薩摩川内**

— Information —

代表者：代表取締役 藤井学  
所在地：入来町副田 5950-1  
従業員数：33人  
連絡先：☎(21)4620

ホームページ▶



入社3年目  
曾木紀子さん

### 社員からのメッセージ

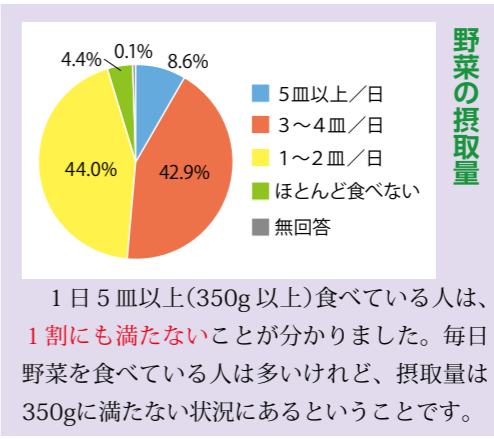
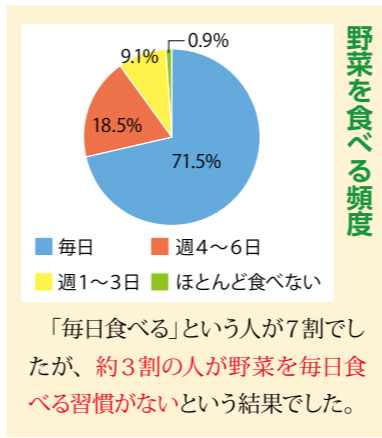
近年の異常気象の中、安定して質の高いレタスが生産できる工場が果たす役割は大きいと考えています。皆さまの日々の食事に野菜が増え、健康な食生活を送る支えになれば嬉しいですね。緑に癒やされながら、社員一人一人が担当する場所に信念を持ち、一丸となっておいしいレタスを作り上げていきます。



本市では脳卒中や、心臓病の一つである心筋梗塞で亡くなる人が全国・県と比較して多い現状です。これらの主な原因の一つが「高血圧」です。今回は、高血圧と野菜の関係についてお伝えしていきます。

国民健康・栄養調査(厚生労働省)のデータによると、ミネラル・ビタミン・食物繊維などの必要な栄養素を確保するために、1日350g以上の野菜の摂取量が必要とされています。本市でも子どもから高齢者まで市民一人一人が健やかで、心豊かに暮らせることを目指して「350ベジライフ」の取り組みを推進しています。

ここで、昨年度市民を対象に実施したアンケート結果から本市の現状を紹介いたします。



今回紹介した「野菜摂取についてのアンケート」の詳細については、市ホームページでご覧ください。

野菜をたくさん食べることの効果  
野菜は、生活習慣病との関係も深く、特に脳卒中や心筋梗塞の主な原因である「高血圧」の予防や、最近増えてきている「糖尿病」の予防に重要な栄養素が豊富に含まれており、さまざまな効果が期待されています。

▲薩摩川内市 350ベジライフ宣言推進計画

## 知っていますか？屋外広告物のルール

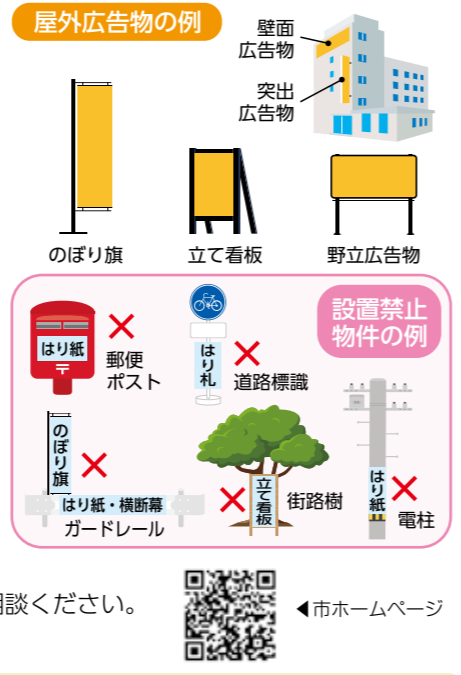
問合せ先 ▶本庁都市整備課 都市計画・景観G (内線 3411)

### 屋外広告物とは？

外出した際に目にするお店の看板や建物の名称(ロゴ)などの他、はり札や立て看板、のぼり旗など容易に設置・撤去できる掲出物件などのことをいいます。何気なく見掛ける街の中の広告物。街を彩り、私たちにさまざまな情報を提供してくれますが、表示にはルールがあります。

### ルールの概要

- ①「表示できる場所」と「表示できない場所」があります。
- ②場所によって表示できる大きさや高さが異なります。
- ③場所にかかわらず、表示が禁止されている物件(禁止物件)があります。
- ④著しい色あせや塗料の剥がれがあるもの、老朽化して倒壊・落下の恐れがあるものは設置できません。
- ⑤広告物の表示者などは管理・点検の義務があり、一定規模を超える広告物は管理者を置く必要があります。



※屋外に広告物を表示する際は、一部を除き市の許可が必要です。事前にご相談ください。申請の手続きなど詳しくは、市ホームページをご確認ください。

暮らしに役立つ屋外広告物ですが、無秩序な表示は、街の景観を損なうだけでなく、視界を遮るなど事故につながることもあります。快適で安全な街になるようご理解・ご協力をお願いします。

## 明日の「元気」を今つくるミニ・デイサービスに参加しませんか？

問合せ先 ▶本庁高齢・介護福祉課 包括支援G (内線 2677)

「最近、人と話す機会が減ってきたな。足腰が弱ってきたかも？いや、もっと元気になりたい！」そんな方にミニ・デイサービス教室のご案内です。

### ミニ・デイサービスとは？

65歳以上で要介護認定を受けていない方を対象に、運動や脳トレ、制作活動などを行っている健康づくり教室・介護予防教室です。市内に15事業所あり、今回はそのうちの2事業所をご紹介します。

#### ●スポーツ&カルチャーれもん(横馬場町)

専門の機械を使って体の状態を把握し、利用者の健康チェックを行うことが特色で、その結果を栄養指導につなげています。また、個人の特性に合った変化を取り入れた体操を行っています。その他にも、編み物やクラフト制作、手芸などもあり、興味がある方はぜひ、お気軽に見学にお越しください。お試し無料券もあります。



※事業所によって、利用料金や送迎の有無、昼食の有無などが異なりますので、ご利用の際は高齢・介護福祉課または各事業所にお問い合わせください。

#### ●おたっしゅ村(大小路町)

スポーツレクリエーション、書道、フラワーアレンジメント、クラフト制作、脳トレ、麻雀、健康の講話を開催するなど多岐に渡ってサービスを提供しています。参加された利用者から、「今日は休もうかなと思ったけど、頑張って良かった」、「今日も楽しかった。また、参加したい」という声を頂くと、スタッフ一同、うれしくて雨の日も晴れの日もパワフル全開で皆さまをお迎えしています。心も体も元気になりたい方、ご参加お待ちしております。



事業所一覧

### 野菜を食べることで期待される効果

- ①傷んだ細胞の修復を促す。
- ②便の量を増やし、排便を促す。
- ③糖やコレステロールの吸収を抑える。
- ④ナトリウム(塩分)の排泄を促す。

**緑黄色野菜**  
●主な成分  
ビタミンA(カロテンなど)、ビタミンC、葉酸、ミネラル(カリウム、鉄分など)

■代表的な野菜  
コマツナ、ホウレンソウ、ニンジン、トマト、ピーマン、オクラ、モロヘイヤ、ニラ、ブロッコリー など

**淡色野菜**  
●主な成分  
ビタミンC(カリウム、カルシウム、鉄分など)、食物繊維 など

■代表的な野菜  
ナス、キュウリ、タマネギ、モヤシ、ゴボウ、キャベツ、ダイコン、ハクサイ など

市民健康課では、食事や健康などについて個別で相談を行っております。気軽にご相談ください。詳しくは、市ホームページをご確認ください。



薩摩川内市 350ベジライフ宣言

今年8月31日の「野菜の日」を含む8月28日から9月3日の1週間を「野菜週間」と設定しました。いつもより多めに野菜を食べてみましょう。まずはいつもの食事に野菜を一皿プラスすることから始めましょう。

血圧の高い状態が続くと、血管にダメージが加わり、血管がもろくなる恐れがありますが、日常的に野菜を取ることで、改善が期待できます。

▲血圧のはなし

問合せ先 / 市民健康課健康増進第1G (すこやかふれあいプラザ内)  
☎(22)8811